

平成29年度版

# よみきかせの世界

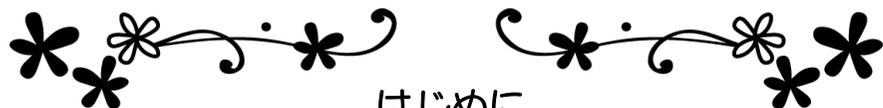
～おはなし会プログラムのためのブックリスト50～



宮城県図書館 子ども図書室

# よみきかせの世界

～ブックリスト50～



## はじめに

この小冊子は、これから学校や児童館、図書館などで読み聞かせをしたいと思っている方、または読み聞かせ初心者の方のために、子ども図書室の職員が読み聞かせにおすすめの絵本を選んで紹介しているものです。平成27年度からこのような形で発行しています。

おはなし会では絵本のほかに紙芝居を演じることもあります。今回は季節や行事に合わせた紙芝居と、幼児向けの8場面、参加型の紙芝居のリストを作成しました。

リストには紙芝居の内容紹介と、職員の一言コメント（感想やおすすめポイント）を載せていますので、演じる際の参考になれば幸いです。

対象年齢や演じる時間も記載しましたが、聞き手や話し手によって多少差がありますので、あくまで目安としてご利用ください。

こちらのリストで紹介した紙芝居は、全て宮城県図書館に所蔵されています。気になる紙芝居がありましたら、ぜひ手にとって御覧ください。

この小冊子が、みなさんの「よみきかせの世界」を広げ、おはなし会プログラムの一助になれば幸いです。

宮城県図書館 子ども図書室



## もくじ

○「はじめに」&「もくじ」	1
○よみきかせブックリスト一覧	2
○よみきかせブックリスト	3
○書名さくいん	13



# もくじ

春

No.	書名	頁
1	うぐいすのホー	3
2	うめぼしさん	3
3	こいのぼりさんありがとう	3
4	さよならおめでとう	3
5	タポちゃんのたび	3
6	なぜ、おひなさまをかざるの？	4
7	はなさかじしい	4
8	春風と王さま	4
9	ふうたのはなまつり	4
10	よぶこどり	4
11	うみべのおともだち	5
12	おばけとやっちゃん	5
13	くじらのおれいまいり	5
14	ぐんたとつくつくぼうし セミのはなし	5
15	子そだてゆうれい	5
16	せみとくまのこ	6
17	てんとうむしのテム	6
18	なぜ、七夕にささかざりをするの？	6
19	ななちゃんのたなばた	6
20	はないっばいになあれ	6

秋

No.	書名	頁
21	かぐやひめ	7
22	きつねのうらないや	7
23	こりすがつくれたやじろべえ	7
24	ころころこぐま	7
25	ごんぎつね	7
26	さるかにがっせん	8
27	少年と子だぬき	8
28	どんぐりのあかちゃん	8
29	なぜ、お月さまにおそなえをするの？	8
30	はっばどりとんだ！	8
31	あとかくしの雪	9
32	くつしたのなかのプレゼント	9
33	たべてみたいな、おほしさま	9
34	ちいさなきかんしゃ	9
35	手ぶくろを買いに	9
36	なっばのおれい	10
37	ふくはうち おにはうち	10
38	雪の女王	10
39	ゆたんぽくん	10
40	りすのもりにはるがきた	10

8場面

参加型

No.	書名	頁
41	おおきくなりたいな	11
42	おむすびくん	11
43	ころころじゃっぽーん	11
44	にんじんさんだいこんさんごぼうさん	11
45	のーびたのびた	11
46	かくれんぼ	12
47	でてこいこい！	12
48	にらめっこしましょ あっぷっぷ！	12
49	ばけばけ〜どん！	12
50	よいしょ よいしょ	12

夏

冬



No.	書名	著者	出版社	対象年齢	時間	初版	内容紹介	一言コメント
<b>○春の紙芝居</b>								
1	うぐいすのホー	杉浦 宏/脚本 松成 真理子/絵	童心社	幼児	5'30"	2005	「なにか、たべるものないかなあ」うぐいすのホーは、あちこちさがしますが、小さな虫しかみつかりません。ある朝、さくらのつぼみがふくらんでいるのに気がついたホーは、花がさくのを、とてもたのしみにしていました。花のつけねには、あまいみつがはいっているのです。	桜の花が印象的です。背景の空の水色とピンクのコントラストが美しく、桜いっぱい場面はとても見事です。人間も動物たちも春の訪れを喜んでます。
2	うめぼしさん	神沢 利子/脚本 ましま せつこ/画	童心社	幼・低	4'30"	2000	うめぼしさん。赤い顔して、しわよって、口にいらたらすっぱくて…。美しくリズムカルなことばの紙芝居。絵によって広がるイメージで、ゆったり語ってください。	梅の花が咲いて実がなって、梅干しが出来るまでのお話です。小さな青い実が大きくなり、泣いたり、はずかしがったり、太陽とにらめっこしたり。そうしているうちに、どんどん姿が変化していきます。場面ごとに変わる梅の表情がかわいらしいです。
3	こいのぼりさんありがとう	桜井 信夫/作 多田 ヒロシ/画	教育画劇	幼・低	6'30"	1995	江戸時代、五月五日のお祭りに、さむらいははたのぼりを飾りました。それをうらやましそうに見ていた町の子のために、ある人が…。	なぜこいのぼりをあげるようになったのかわかるお話です。鯉や柏もちなどお話に出てくる言葉の解説もついていますので、読む時の参考にもなります。
4	さよならおめでとう	千世 繭子/脚本 山本 祐司/絵	童心社	幼児	6'00"	2012	きょうは卒園の日。ななちゃんは、みんなにさよならをすることにしました。金魚のきんちゃんに「さよなら」というと、「おめでとう」といってくれて…。	お別れは寂しいことだけど、それを経験して少し大人になったななちゃん。生き物、植物を愛するななちゃんのやさしさが伝わってきます。卒園シーズンにはぴったりです。
5	タポちゃんのたび	古寺 伸竹/作 ながよし かよ/画	教育画劇	幼・低	5'30"	1981	タンボポのタポちゃんは、やっと風に吹かれて空に飛び立つことができました。さあ、いよいよこれから独りで生きていかなければなりません。うまくやれるでしょうか。	タンボポの生態についての解説と物語が一緒になった紙芝居です。身近な植物なので、子どもたちの関心も高いと思います。何気なく咲いているように見えても生き残る大変さが理解してもらえるのではないのでしょうか。

No.	書名	著者	出版社	対象年齢	時間	初版	内容紹介	一言コメント
<b>○春の紙芝居</b>								
6	なぜ、おひなさまをかざるの？	三谷 亮子/脚本 川上 尚子/絵	童心社	幼・低	5'30"	2001	もうすぐひなまつり、ウサコもおひなさまをだしました。「おひなさまってかわいいなあ。でも、どうしておひなさまをかざるのかなあ」ウサコがみんなにきいてみると…。	おひなさまをかざる由来がわかるお話です。昔の生活といろいろ変わってしまった現代ですが、古くから伝わる行事を理解して、その日だけでも、昔の人と同じような気持ちで過ごすのもすてきなことだと思います。
7	はなさかじじい	浜田 広介/文 黒崎 義介/画	教育画劇	幼・低	9'30"	1988	風がながれて灰が散り、枯木がきれいな花ざかり。アッパレみごと花さかじじいであそび！巨匠と名画伯の協力珠玉篇。	定番中の定番ですが、桜の季節には欠かせません。愛情深いおじいさんとおばあさんの行いに心が温まります。やはり紙芝居には昔話がしっくりきます。
8	春風と王さま	小川 未明/作 清水 たみ子/脚色	教育画劇	幼・低	8'30"	1981	まい日まい日、退屈で仕方のない王さまに、山や野の美しさ、花や鳥のやさしさを教えた旅のおじいさんは、また、子どもたちの胸に春風のあたたかさややさしさを教えます。	かんしゃくもちだった王さまの心は、春風が甘い花の香りを運んできたときに変わります。閉ざされた冬の後にやってくる、色鮮やかな春は五感を刺激し、心を軽くしてくれます。王さまの躍動する気持ちが伝わってきます。
9	ふうたのはなまつり	あまん きみこ/原作 水谷 章三/脚本	童心社	幼・低	7'30"	1993	こぎつねのふうたは、人間たちがれんげの花かんむりをつくっているのをみて、うらやましくてしかたありません。それをきいたお母さんは、花かんむりを…。	ふうたと同じように、子どもたちをかげから見ている女の子がいます。女の子の正体は？と途中少しドキドキしますが、女の子もキツネとわかり一安心。花畑の美しさを表現しているピンク色も、後半はふうたの舞い上がる気持ちを描いているようにも受け取れます。
10	よぶこどり	浜田 ひろすけ/作 あきくさ あい/絵	教育画劇	幼・低	8'00"	2007	ある日、りすは、たまごをひろい、ひなが生まれます。そして、りすは大切にひなを育て、ひなは、りすを本当の母親だと思いがちなのですが…。切なく、やさしい物語。時代をこえて心にひびく名作紙芝居。	ひなは大きくなりやがて飛び立ちますが、りすは戻ってくることを信じて、来る日も来る日も待ち続けるのです。親が子を、子が親を思いやる気持ちがひしひしと伝わってきてとても切なくなります。

No.	書名	著者	出版社	対象年齢	時間	初版	内容紹介	一言コメント
<b>○夏の紙芝居</b>								
11	うみべのおともだち	花沢 慎一/作 前田 賢/画	教育画劇	幼・低	8'00"	1981	海へ泳ぎにきたさるくんですが、水が冷たいといって砂場にねころんでしまいました。すると、砂の中からカニくんが出てきて、じまんのはさみでチクリ、チクリと…。	海の水の冷たさに思わず逃げてしまった臆病者のさるくんですが、ヒトデからカイを助けてあげる優しい一面も持ち合わせています。山と海の生き物が仲良くなる結末に、ふっと笑顔になります。淡くさわやかな色合いで描かれた絵は、見ているだけで涼しい気持ちにしてくれますよ。
12	おばけとやっちゃん	松野 正子/脚本 渡辺 有一/絵	童心社	幼・低	9'15"	1981	お泊まり保育でのやっちゃんの心配はおねしょです。そこに、人をおどかす練習中のおばけのぼうやがあらわれて、大そうどうです。	子どもにとってお友達とのお泊まりは、楽しいな反面不安もいっぱい。トイレに起きられるか心配で泣いていたやっちゃんは、トイレでおばけのぼうやに出会って…。ワクワクとドキドキが入り交じるお泊まり保育を、ユーモラスに描いた作品です。
13	くじらのおれいまいり	深山 さくら/文 石川 えりこ/絵	教育画劇	幼	6'00"	2012	瀬戸内の島で海を見守る地蔵さま。そこへ親子のくじらがやってきました。子くじらたちが遊んでいる横で、母くじらはうとうとして…。優しさ、思いやり、助け合いをテーマにした紙芝居。	海の生き物が集結し力を合わせて母クジラを助けようとするシーンはとても迫力があり、見応え抜群！思わず胸がシーンと熱くなります。春のお話ですが、海の生き物がたくさん出てくるので、海の日にもおすすめです。
14	ぐんたとつくつくぼうし：セミのはなし	山本 省三/作画	教育画劇	幼・低	6'00"	1991	親切にしてくれたぐんたのために、つくつくぼうしが、精一杯のはたらきをします。	セミが幼虫の時に助けてもらった恩返しをするお話です。その恩返しの方法がユーモラス。「つくつくぼうし」の鳴き声で、昼寝をしているぐんたを起こしたり、危機を救ったりするんです。あついあつーい夏の日に読みたい作品です。
15	子そだてゆうれい	桜井 信夫/脚本 須々木 博/絵	童心社	低	8'15"	1991	あめ屋のとうべえさんは、旅の若い女の人に道をきかれて、愛想よく答えてやりました。ところが、その晩から毎夜、女の人が…。	暑い夏にヒヤッとさせる紙芝居はいかがでしょう。若い女の幽霊が自分の赤ん坊のために毎晩あめを買いに来るといふ怖い民話です。怖さがありつつも、死んでもなお、我が子を想う母親の深い愛情に切なくなりました。筆で描かれた絵が味わい深いです。

No.	書名	著者	出版社	対象年齢	時間	初版	内容紹介	一言コメント
<b>○夏の紙芝居</b>								
16	せみとくまのこ	鶴見 正夫/作 いわむら かずお/画	童心社	幼・低	4'30"	2000	くまのだいちゃんは元気な子。あそびともだちをさがしに原っぱへきました。みんなは昼寝をしていて、ともだちはだれもいません。	くまのこが木陰でちょうど眠りかけたところで、「ジジ ジジ ジジー」と盛大なせみの鳴き声！くまのこせみの戦いが始まります。「14ひきシリーズ」でおなじみのいわむらかずおさんの絵で、自分勝手だけど憎めないくまのこが可愛らしく描かれています。
17	てんとうむしのテム	得田 之久/脚本・画	童心社	幼・低	6'30"	1998	夏の夜明け、てんとう虫のテムがひとりでさんぽにでかけました。アオムシやアリやオケラに会いますが、いっしょにさんぽしてくれません。さいごに会ったのはてんとうむしでした。	てんとう虫が色んな虫に出会い散々な目に遭いながらも、一緒に散歩をする仲間を見つけ出すまでのお話です。虫の作品を沢山手掛けている得田さん。あえて色彩を抑えた繊細なイラストが昆虫の特徴をよく捉えていて、今にも動き出しそうなくらいです。
18	なぜ、七夕にささかざりをするの？	若山 甲介/脚本 藤田 ひおこ/絵	童心社	幼・低	7'00"	2001	むかしの中国のお話です。雲の上のおり姫とひこ星は仲よく暮らすようになりましたが、仕事をしなかったので、神様にしかられて…。	おり姫とひこ星の出会いから始まり、七夕に笹飾りをする由来までを教えてください。七夕の時期にぴったりの、ロマンチックな紙芝居です。「なぜ?どうして?たのしい行事」というシリーズで、様々な行事に関する素朴な疑問に分かりやすく教えてください。
19	ななちゃんのたんばた	やすい すえこ/脚本 うすい あきこ/絵	童心社	幼	4'30"	2013	「お友だちができますように」という願いごとを書いたたんざくが風で飛ばされてしまいました。ななちゃんが探すと、星の子がたんざくを押さえてくれていて…。季節の楽しい行事「七夕」を描いた紙芝居。	人見知りでなかなか自分からは声を掛けられない、ななちゃん。短冊に書いた願い事をお星様が叶えてくれるという、夢のある可愛い七夕のお話です。ななちゃんの願いが叶って、お友達と仲良く遊ぶラストに、心があたたかくなります。
20	はないっばいになあれ	松谷 みよ子/脚本 長野 ヒデ子/絵	童心社	幼・低	6'00"	1998	お花のタネをつけてとばしたふうせんが、お山でひるねをしていたきつねのコンのところにつきました。はじめてふうせんをみたコンはびっくり！	初めて風船を見たきつねのコンは、風船をお花だと勘違いしてしまいます。お花を大切に育てようとする、コンのピュアでまっすぐな姿が愛らしいです。大きな大きな金色のひまわりが咲き誇る様子は圧巻！夏にぴったりです。

No.	書名	著者	出版社	対象年齢	時間	初版	内容紹介	一言コメント
<b>○秋の紙芝居</b>								
21	かぐやひめ	岩崎 京子/脚本 遠藤 てるよ/画	童心社	幼・低	9'00"	1986	おじいさんが山で竹をとっていると、1本の竹が光り輝いていました。不思議に思って切ってみると、竹の中から小さな女の子が出てきました。女の子はかぐや姫と名付けられ、おじいさんとおばあさんに大切に育てられ、美しい女性に成長しましたが…。	おなじみの昔話です。紙芝居のためお話の長さは短いですが、易しい言葉とあたたかい絵柄でかぐやひめの世界観が穏やかに描かれています。かぐやひめが十五夜の夜に天に帰ってしまう別れのシーンは、秋独特の寂しい雰囲気によってより深く味わうことができます。
22	きつねのうらないや	ときわ ひろみ/脚本 一条 めぐみ/画	童心社	幼・低	7'00"	1998	今夜は村の秋まつり。夜店のうらないやは大繁盛。さがしものなどを次から次にあてていきます。そんなうらないやのところに春をさがしてほしいと、女の子がやってきました。	ある秋まつりの夜、きつねのうらないやに「春を探してほしい」という女の子が訪ねてきました。その理由を知ったとたん、今まで人をだまし続けてきたきつねの心にある変化が…。喜んでもらえる嬉しさや親切な心を持つ大切さを教えてくれる、心あたたまるお話です。
23	こりすがつくったやじろべえ	椎野 利一/作画	教育画劇	幼・低	4'30"	1989	林の中を散歩しているおじいさんと女の子が、楽しそうにどんぐりのやじろべえを作っています。その様子を木の上から見ていた2匹のこりす。早速まねをして作って見たのですが…。	どんぐりを使って作るやじろべえを通して、秋の自然と触れあい、遊ぶ楽しさを伝えることができます。また、人間とこりすとの距離の近さに自然との身近さを感じることができます。絵から森のにおいがしてきそうな、秋にぴったりの紙芝居です。
24	ころころこぐま	平塚 武二/原作 長崎 源之助/脚本 安 和子/画	童心社	幼・低	4'30"	1991	とうさんぐまから石をもらい、まるいものはなんでもころころころがるということを知ったこぐまは、森へまるいものをさがしにいきます。すると…。	丸いものを探し求め、見つけた柿やこならなどの木の実をころころ転がして遊ぶ子ぐまがとても可愛らしいです。写実的な絵柄とあたたかい色合いで描かれており、木の実を発見した時の子ぐまの嬉しそうで楽しそうな様子がしっかり伝わってきます。実りの秋を感じることができる作品です。
25	ごんぎつね	新美 南吉/原作 清水 長野 ヒデ子/画	童心社	幼・低	8'30"	1994	いたすらぎつねのごんは、兵十がつかまえた魚やうなぎを、川に戻してしまいました。ところがある日、兵十の家へ行ってみると、どうやらお葬式の様です…。	秋を連想させるキーワードが多く、この季節ならではの、心細くもの寂しい雰囲気にあふれているお話です。この紙芝居は主線が太く描かれており、色づかいははっきりしているので、遠くからでも絵を楽しむことができます。新美南吉さんの名作をぜひ紙芝居で演じて、楽しんでください。

No.	書名	著者	出版社	対象年齢	時間	初版	内容紹介	一言コメント
<b>○秋の紙芝居</b>								
26	さるかにがっせん	長崎 源之助/文 若菜 珪/画	教育画劇	幼・低	7'00"	1988	にぎりめしより柿のタネ、いわれてカニはとりかえましたが…。美しい画面、格調高い文章と語りが渾然一体の傑作！！	口承で伝えられてきた民話としてのさるかにがっせんを楽しむことができます。かにが繰り返し歌う場面があり、リズムカルに展開していきます。また、さるの家で子かんにや栗、うす達がどこに隠れているのかを聞き手と探しながら進めることもでき、紙芝居ならではの楽しみも味わえます。
27	少年と子だぬき	佐々木 たづ/作 遠藤 てるよ/画	童心社	幼・低	7'30"	1981	お山の子だぬきは、女の子の姿になって、山をおりていきます。自転車にのってきた男の子が、ころんでけがをすると、しっぽできずを洗ってやります。楽しく歌ったり遊んだりして、自転車でお山へおくってもらいました。とても、しあわせでした。	子ダヌキが化けていることに気付きながら、男の子は赤とんぼの歌を歌ってあげたり、おやつをあげたりします。子ダヌキの優しさを感じた少年と、人間の世界を楽しめた子ダヌキのしあわせな気持ち、こちらまで伝わってきます。親切にする大切さを教えてくれる紙芝居です。
28	どんぐりのあかちゃん	島本 一男/脚本 若山 憲/画	童心社	幼・低	4'30"	1997	どんぐりのあかちゃんは、つよい北風にふかれて、お母さんの木、スタジイからはなされ、旅立ちました。鳥にねらわれたり、のねずみにつかまったりしましたが…。	どんぐりの赤ちゃんが、お母さんであるスタジイの木から離れて冒険をするお話です。水たまりに落ちたり、どんぐりをエサにしている動物に食べられそうになったり、ハラハラドキドキします。どんぐりに対する知的好奇心が高まる作品です。
29	なぜ、お月さまにおそなえをするの？	渡辺 享子/脚本・絵	童心社	幼・低	5'30"	2001	きょうはお月見。あいちゃんは、なかよしのベトナムのツイちゃん、中国人のヤンくんといっしょに、お月見の用意をします。それぞれの国のお月見が語られて…。	お月見は日本だけの行事ではなく、中国やベトナムでも行われています。この紙芝居では、それぞれの国で行われているお月見の違いや、月にお供えをする理由を学ぶことができます。最後には歌うシーンもあり、秋の行事を楽しく学ぶことができる作品です。
30	はっばどりとんだ！	椎野 利一/作・画	教育画劇	幼・低	7'00"	1992	秋の日の校庭でみんなは落ち葉を集め、はり絵を作ることになりました。こうたのはり絵の鳥は、ふわりと今にも飛びそうなできばえ。するとその時、窓から風が入りこんで…。	色とりどりの綺麗な葉っぱを使って、クラスのみんなで大きな「はっばどり」を作ろうとします。紅葉への関心を高めることができ、秋の楽しみ方を伝えることができるお話です。水彩画で描かれた美しい紅葉や山の風景、そして完成した「はっばどり」の雄大さにも注目です。

No.	書名	著者	出版社	対象年齢	時間	初版	内容紹介	一言コメント
<b>○冬の紙芝居</b>								
31	あとかくしの雪	ときわ ひろみ/脚本 藤本 四郎/絵	教育画劇	幼児	6'30"	2012	冬の日。家に来たみすぼらしいお坊さんを、おばさんはあたたかく迎え入れました。食べるものは何也没有。おばさんは立ち上がり、表に出て行くと…。	人のものを盗むことは悪いことです。しかし、おばあさんはお腹を空かせたお坊さんのために悪いと思いつつも大根を盗みました。この行いからおばあさんの優しさと思いやりが感じられます。お坊さんもその思いを感じ取ったのでしょうか、最後の場面からはお坊さんの感謝の気持ちが感じ取れました。
32	くつしたのなかのプレゼント	間所 ひさこ/作 ふりや かよこ/絵	教育画劇	幼・低	5'30"	1995	貧しい親子の話聞いたニコラスさんは、ある晩こっそり窓から金貨の袋をなげこみます。すると袋はほしてあったくつしたの中へ…。	クリスマスになぜ靴下をさげるのか？その由来のお話です。朝になったらどんなプレゼントが入っているのか、わくわくドキドキしながら下げていた靴下に実はこんな心温まるお話があったんだ！と驚きます。クリスマス前にぜひ読んでいただきたいお話です。
33	たべてみたいな、おほしさま	武鹿 悦子/脚本 末崎 茂樹/絵	教育画劇	幼児	5'30"	1990	雪がたくさん積もって、動物たちは困っています。そこで、きつねはそりに乗って、皆に食糧を配って回ります。でも、自分の分まであげてしまったので、お腹がすいて、すいて…夜空の星さえおいしそう…	最初から最後まで雪がたくさん描かれた冬らしいお話です。ころころ変わるきつねの表情がとても魅力的で飽きることがありません。得意げに、夢見心地に、絶望的になどの演出ノートを活用して演じると、聞き手もお話の世界に入り込みやすくなります。
34	ちいさなきかんしゃ	池田 善朗/作 津田光郎/絵	童心社	幼	5'30"	1984	きかんしゃコッペルは山から町へ材木をはこんでいましたが、だんだん仕事がふえたので、大きなきかんしゃダブスンに仕事をとられてしまい…	小さいものは大きいものに引け目を感じがちですが、自分に出来ること、自分の役目が分かるとその力を最大限に発揮できます。コッペルが自分より大きな機関車のピンチを救うことで自信を付け、仲良くなっていく姿に心が温かくなります。コッペル得意の掛け声をみんなで言ってみると盛り上がりやすいです。
35	手ぶくろを買いに	新美 南吉/原作 西本 鶏介/脚本 狩野 富貴子/絵	すずき出版	幼	13'00"	2012	寒い冬がやってきました。母ぎつねはぬれてぼたん色になった子ぎつねの手を見て、あたたかい手ぶくろを買ってやろうと思います。母ぎつねは子ぎつねの片手を人間の手に変えると、「必ずこっちの手を出すんだよ」と言い聞かせて、人間たちのいる町へ送り出しました。	新美南吉さんの代表作で、絵本や教科書で読んだ方も多いのではないのでしょうか。文章からは冬の厳しい寒さや冷たさが伝わってきますが、柔らかな絵からは母ぎつねや人間の優しさやぬくもりが感じられます。少し長めのお話に慣れてくる年中さん～にオススメです。

No.	書名	著者	出版社	対象年齢	時間	初版	内容紹介	一言コメント
<b>○冬の紙芝居</b>								
36	なっばのおれい	亀澤 裕也/脚本・絵	教育画劇	幼児	4'30"	2013	お正月の準備で賑わうまちへ、なっばを売りに出かけたそうべえ。売れ残ったなっばを水神さまに食べてもらおうと、海へ投げ込むと…。	主人公そうべえの関西弁がテンポ良くお話しを進めてくれます。登場人物も非常にユニークで、なっばのおひたしをほおばる水神様の神様らしからぬ食べっぷりに思わず笑ってしまいました。クスッと笑える昔話ですが、良い行いをすれば必ず自分に返ってくるという日本の昔話らしい要素もたっぷり詰まっています。
37	ふくはうち おにはうち	いしばし しずこ/脚本 石橋 三宣/絵	教育画劇	幼・低	5'30"	1993	むかしむかしの節分の夜。「なんでこんなにいじめられるんやろう」あちこちで豆をぶつけられて、鬼吉一人で泣いておった。すると、「ふくはうち、おにはうち」「おや？」	豆まきの風習が鬼の目線から描かれています。鬼からしてみれば、なぜ豆をぶつけられるのかわからない、ただただ痛いだけ…そんな嫌われ者の鬼も優しくしてくれた人間には恩返しをしてその家は栄えます。もしかしたら、鬼も福の神なのかもしれませんね。節分の時期におすすめです。
38	雪の女王	アンデルセン/原作 稲庭 桂子/脚本 いわさき ちひろ/絵	童心社	幼・低	11'00"	1976	雪の女王にさらわれて、氷の国へつれていかれたカイをさがすため、ゲルダは山賊の娘やトナカイに助けられ、氷の国にいきます。	アンデルセンの雪の女王にいわさきちひろさんの美しい絵がびっぴりの紙芝居です。原作は長編かつ宗教的色彩が濃いものですが、紙芝居は子ども向けの軽めの作品になっています。とはいえ、原作の持つ劇的な要素は十分に含まれているので、聞き応えたっぷりです。
39	ゆたんぼくん	おおたか 蓮/脚本 山本 祐司/絵	童心社	幼児	2'30"	2012	「はっくしょん」寒くて目をさましたのは、ゆたんぼくんです。「とくとくとく」やかんからあついお湯を入れて、ポカポカになりました。おや、寒くてカチンカチンになっているひとがいますよ。「カチンカチンさん、ぼくがぬくぬくあたためてあげますよ」「きゃー、やめてください」だって。いったいだれでしょう。	冬の夜の強い味方、湯たんぼのお話です。最近は湯たんぼを使う家庭が少なくなってきているようなので、子どもたちには馴染みが薄いかもかもしれませんが、誰がどんな時に使うのかよくわかるお話になっています。使った経験のある方は、子どもたちに話してあげるといいかもしれませんね。
40	りすのもりにはるがきた	シートン/原作 北田 伸/脚本 武部 本一郎/絵	童心社	幼児	6'00"	1993	森は毎日激しい吹雪です。ひとりぼっちのはいろいろすフラッグはともだちがほしくてたまりません。ある日、遠くから優しいめずりすの声が聞こえてきて…	シートン動物記旗尾リスの一部分を紙芝居にしたものです。リスたちの生きる姿が力強く描かれています。小さな子どもにも自然の厳しさや生き物の生態がよくわかる優しい内容になっているので、動物好きな子どもたちは喜ぶかもしれません。

No.	書名	著者	出版社	対象年齢	時間	初版	内容紹介	一言コメント
○8場面の紙芝居								
41	おおきくなりたいな	松谷 みよ子/脚本 垂石 眞子/絵	童心社	幼	2'30"	2001	はやくおおきくなりたいたいという女の子、チブのところに、白いうさぎがにんじんをもって、やってきました。「おひさまが、チブちゃんにとって」と。つぎに…。	おひさまに「はやくおおきくなりたいなあ」と話すチブの姿を見て、子どもたちも、きっと同じ気持ちを心で感じるのではないのでしょうか。おはなしの後は、空から見守っていてくれるおひさまに明日も会えますように…とお願いしたくなるような、心があたたかくなる紙芝居です。
42	おむすびくん	とよた かずひこ/脚本・絵	童心社	幼	2'30"	2009	真っ白ご飯のおむすびくんが「あーん」と口をあげた。すると、「びょーん」と、真っ赤な丸いものが飛んできた。「ばくっ、ひゃー、すっばい」飛んできたのは、うめぼし。こんどは、おむすびくん、おめかしをはじめて…。	のりの衣装をまとして、おむすびくんが最後に向かったのは、ウィンナーさんやたまごやさきさんたちがいるお弁当箱の中です。こんなお話の後はお弁当を持って出かけたいくなります。
43	ころころじゃっぽーん	長野 ヒデ子/脚本・絵	童心社	幼	1'30"	2006	「山からころころ、やーまいも」おいものわらべ歌をもとにした、リズムカルなお話。あかちゃんの発育にぴったりのテーマで、擬音語・擬態語をたっぷり使った紙しばい。	わらべうたをもとにしている紙芝居です。じゃっぽーん、と次々に水へ飛び込んでいくおいも達のテンポの良さが爽快です。歌いながら進んでいくお話ですが、楽譜が掲載されているので安心です。言葉が理解できなくても、聞いていて楽しくなれる紙芝居です。
44	にんじんさんだいこんさんごぼうさん	川崎 大治/脚本 瀬名 恵子/はり絵	童心社	幼	3'00"	1981	にんじんさんとだいこんさんとごぼうさんは、そろってお風呂にいきました。にんじんさんは、いい気持ちでお風呂につかってばかり、だいこんさんは、ごしごしあらってばかり、ごぼうさんは、お風呂なんか大きらいって、あそんでばかりいました。	しっかりお風呂に浸かるにんじんさん、体をきれいに洗うだいこんさん、本当に気持ち良さそうに描かれています。お風呂が苦手な子が、いつまでも真っ黒のままのごぼうさんにならないよう、お風呂に入ることへの意識づけに繋がれそうです。
45	のーびたのびた	福田 岩緒/脚本・絵	童心社	幼	1'30"	2006	のーびた、のびた。なーにがのびた？びゅーんと、ぞうさんの鼻がのびた。擬音と一緒に変化が楽しいお話。あかちゃんの発育にぴったりのテーマで、擬音語・擬態語をたっぷり使った紙しばい。	福田岩緒さんのシンプルでやわらかい絵が、それぞれの動物たちの特徴をかわいく表現しています。歌うような「のーびたのびた」の繰り返しで、おはなし会も楽しくなりそうです。

No.	書名	著者	出版社	対象年齢	時間	初版	内容紹介	一言コメント
<b>○参加型の紙芝居</b>								
46	かくれんぼ	瀬名 恵子/脚本・画	童心社	幼・低	3'00"	1983	くだものたちがかくれんぼをはじめました。オニは、りんご。みんな上手にかくれています。さあ、みつげられるかな？	いちごは金魚に、バナナは月になりきります！工夫を凝らしてかくれたくだものたちを見つける、参加型紙芝居です。切り絵で表現されたくだものたちは手足がついていて、まるで人間のように生き生きと描かれています。小さい子でも楽しめますよ。
47	でてこい こい!	間所 ひさこ/脚本 土田 善晴/絵	童心社	幼児	3'30"	2007	お正月のおもちがたりなくてこまっているねずみの国に、大黒様がやってきた。「でてこいでてこい でてこいこい」って、みんないっしょに声を出して、大黒様が打出の小槌をふるのを手伝ってね。すてきなことがおきるよ!	にっこり笑顔の大黒様がとても印象的なお話で、「でてこい でてこい でてこいこい!」というリズムの良い掛け声が耳から離れなくなります。お正月のお話ですが、演出ノートをうまく使うと、1年中読み聞かせすることができます。
48	にらめっこしましょ あっぴっぴ!	長野 ヒデ子/脚本・絵	童心社	幼児	3'00"	2007	こわーいかおのだるまさんがいるね。みんなでだるまさんとにらめっこして、笑わせちゃおう! 「だるまさんだるまさん、にらめっこしましょ。わらうとまげよ、あっぴっぴ!」こんどは、ちびだるまがいっぱいいるよ!	いろんなだるまさんとにらめっこするお話です。一番手強くてんぐだるまさんを笑わせることはできるのでしょうか?演じ終わった後に、読み手も子ども達も一緒になってにらめっこして遊ぶのも良いかもしれませんね。
49	ばけばけ〜どん!	谷地元 雄一/脚本 夏目 尚吾/絵	童心社	幼	3'00"	2005	コンちゃんが、化ける練習をしています。頭にはっぱをのせて、こしをふりふり。ばけばけ〜どん! ごっこあそびにつながる、2・3歳児のふれあいあそびにぴったりな紙芝居。	きつねの子どもたちが「ばけばけ〜どん!」と化ける練習をするのですが、どこか失敗してばかり。でもその様子がたまらなく可愛いです。子どもたちと一緒に「ばけばけ〜どん!」の掛け声を楽しんでくださいね。
50	よいしょよいしょ	まつい のりこ/脚本・画	童心社	幼	3'00"	1988	タコさんがひもを「よいしょよいしょ」とひっぱると8つのくつが出てきたよ。ウマくんがひっぱると、出てきたのは大きなんじん! みんなに手伝ってもらって出てくる最終場面が8通りに使い分けられる作品。88年刊の新版。	タコさんがひもをひっぱると、何とつながっているのかな?と想像が膨らみ、楽しさいっぱいです。みんなで「よいしょよいしょ」と声を合わせて、最終場面はケーキがでてきたり、機関車、サンタさんなど、おはなし会のテーマによって使い分けられるところも魅力的な紙芝居です。

# さくいん

No.	書名	頁
あ	1 あとかくしの雪	3
	2 うぐいすのホー	9
	3 うみべのおともだち	5
	4 うめぼしさん	3
	5 おおきくなりたいな	11
	6 おばけとやっちゃん	5
	7 おむすびくん	11
か	8 かぐやひめ	7
	9 かくれんぼ	12
	10 きつねのうらないや	7
	11 くじらのおれいまいり	5
	12 くつしたのなかのプレゼント	9
	13 ぐんたとつくつくぼうし セミのはなし	5
	14 こいのぼりさんありがとう	3
	15 子そだてゆうれい	5
	16 こりすがつかったやじろべえ	7
	17 ころころこぐま	7
	18 ころころじゃっぽーん	11
	19 ごんぎつね	7
さ	20 さよならおめでとう	3

No.	書名	頁	
21	さるかにがっせん	8	
22	少年と子だぬき	8	
23	せみとくまのこ	6	
た	24 たべてみたいな、おほしさま	9	
	25 タポちゃんのたび	3	
26	ちいさなきかんしゃ	9	
27	でてこい こい!	12	
28	手ぶくろを買いに	9	
29	てんとうむしのテム	6	
30	どんぐりのあかちゃん	8	
な	31 なぜ、お月さまにおそなえをするの?	8	
	32 なぜ、おひなさまをかざるの?	4	
	33 なぜ、七夕にささかざりをするの?	6	
	34 なっばのおれい	10	
	35 ななちゃんのたなばた	6	
	36 にらめっこしましょ あっぶっぶ!	12	
	37 にんじんさんだいこんさんごぼうさん	11	
	38 のーびたのびた	11	
	は	39 ばけばけ〜どん!	12
		40 はっばどりとんだ!	8

No.	書名	頁
41	はないっばいになあれ	6
42	はなさかじじい	4
43	春風と王さま	4
44	ふうたのはなまつり	4
45	ふくはうち おにはうち	10
や	46 雪の女王	10
	47 ゆたんぼくん	10
48	よいしょ よいしょ	12
49	よぶこどり	4
ら	50 りすのもりにはるがきた	10





『 よみきかせの世界 ～ブックリスト50～ 』  
平成29年度版

発行日 平成29年3月18日  
編集発行 宮城県図書館 子ども図書室  
〒981-3205  
宮城県仙台市泉区紫山1-1-1  
TEL 022-377-8447  
FAX 022-377-8491  
<http://www.library.pref.miyagi.jp/child.html>